

第 8 回日台アジア未来フォーラム 並びに  
東呉大学マンガ・アニメ文化国際シンポジウム

グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性  
—コミュニケーションツールとして共有・共感する映像文化論から  
学際的なメディアコンテンツ学の構築に向けて—

プログラム(案)

主催：東呉大学日本語学科、東呉大学図書館、(公財)渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)

共催：東呉大学英文学科、東呉大学教養教育センター

後援助成者：中華民国教育部、中華民国外交部、中華民国三三企業交流會、台日商務交流協進會

(独)国際交流基金、(公財)日本台湾交流協会、中鹿營造股份有限公司

ケミカルグラウト株式会社、全日本空輸股份有限公司台北支店、台湾住友商事股份有限公司

台湾本田汽車股份有限公司、台湾三菱電機股份公司、みずほ銀行 台北支店 (順不同)

名義賛助者：講談社、台湾日本人会、台北市日本工商会 (順不同)

会場：東呉大学外双溪キャンパス 第一教学研究棟普仁堂 (大講堂)

開催日：2018年5月25日(金) 15:00~26日(土) 17:40

【特別講演会】

時間	2018年5月25日(金) 普仁堂(大講堂) 15:00~17:30
15:00-15:30	受付開始
15:30-15:40	開会の辞：董保城(東呉大學副校長) / 今西淳子(渥美国際交流財団常務理事) 松原一樹(日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長)
15:40-17:20	司会者：朱廣興(東呉大學日本語文學系教授) 講演者：弘兼憲史(漫画家：『島耕作』シリーズ作者) テーマ：漫画から学んできたこと
17:20-17:30	閉会の辞：蘇克保(東呉大學日本語文學系副教授兼主任) 後援助成機関・団体・企業の代表(打診中)

日台アジア未来フォーラム/国際シンポジウム

時間	2018年5月26日(土) 普仁堂(大講堂) 08:00~17:40
8:00-8:30	受付開始
8:30-8:40	開会の辞：董保城(東呉大學副校長) / 今西淳子(渥美国際交流財団常務理事) 浅田雅子(日本台湾交流協会台北事務所広報文化室主任) 高橋伸一(台湾日本人会 日台交流部会長)
8:40-9:25	招請講演 1 普仁堂(大講堂)
	司会者：蘇克保(東呉大學日本語文學系副教授兼主任) 講演者：表智之(日本北九州市漫画ミュージアム専門研究員) テーマ：研究者のネットワーク化とマンガ研究の進展—学会・地域・ミュージアム—
9:25-10:10	招請講演 2 普仁堂(大講堂)
	司会者：邱若山(靜宜大學日本語文學系教授) 講演者：宣政佑(韓国 Comicpop Entertainment President) テーマ：韓国ではアジア漫画をどう見てきたか—韓国におけるアジア漫画の輸入・紹介史
10:10-10:55	招請講演 3 普仁堂(大講堂)
	司会者：林聰敏(東呉大學德國文化學系教授・圖書館館長) 講演者：秦 剛(北京外國語大學北京日本學研究中心教授) テーマ：戦後日本最初の長編アニメーション『白蛇伝』における「中国」表象と「東洋」幻想
10:55-11:10	記念撮影 ティータイム @ 第一教学研究棟 1階エントランス広場

<b>パネル ディスカッション 普仁堂 (大講堂)</b>			
11:10-12:10	主題：グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性 司会者：今西淳子（渥美国際交流財団常務理事） パネルリスト 1：表 智之（北九州市漫画ミュージアム専門研究員） パネルリスト 2：宣 政佑（Comicpop Entertainment President） パネルリスト 3：秦 剛（北京外国語大学北京日本学研究中心教授） パネルリスト 4：梁 世佑（U-ACG/旭傳媒科技股份有限公司創立者） パネルリスト 5：黄 瀛洲（台湾動漫畫評論團體「傻呼嚕同盟」召集人） パネルリスト 6：住田哲郎（京都精華大学専任講師）		
	<b>ご昼食 場所：R棟3階各セッションの会場</b>		
	<b>招請講演 4</b>		<b>招請講演 5</b>
	A 会場（R0302 教室）		B 会場（R0305 教室）
	司会者：羅濟立 （東呉大学日本語文学系教授兼副主任） 講演者：梁世佑 （台湾 U-ACG/旭傳媒科技股份有限公司創辦人） テーマ：台湾のオタクにみる日本アニメの受容と 変化：作品の鑑賞、収集と行動		司会者：李宗禾 （東呉大学日本語文学系副教授兼通識教育中心主任） 講演者：黄瀛洲 （台湾動漫畫評論團體「傻呼嚕同盟」召集人） テーマ：未来を見据えた台湾アニメの発展
	13:20-14:05		13:20-14:05
<b>論文発表 (セッション形式) 14:20~17:20</b>			
14:20-15:40 3×20分（発表時間）+ 20分（総合 質疑討議） =80分	A-1 会場（R0302 教室）	B-1 会場（R0305 教室）	C-1 会場（R0312 教室）
	コメンテータ兼司会者：李偉煌 （静宜大学日本語文学系副教授兼主任）	コメンテータ兼司会者：楊錦昌 （輔仁大学日本語文学系教授）	コメンテータ兼司会者：游珮芸 （台东大学儿童文学研究所副教授兼所長）
	1 発表者：呂佳蓉 （台湾大学语言学研究所助理教授）	13 発表者：徐錦成 （高雄科技大学文化创意产业系副教授）	7 発表者：黄璽宇 （識御者知識行銷創辦人・臺灣哲學諮商 學會共同發起人）
	テーマ：ACG 文化による言語の伝播と受 容	テーマ：野球とマンガの親和性—中華職 業棒球大聯盟の二度にわたる野球マン ガへの干渉を中心に—	テーマ：個人の存在と集団の存在—トマ ス・アクイナス思想から『聲の形』にお ける生きづらさを論じる—
	2 発表者：住田哲郎 （京都精華大学専任講師）	14 発表者：陳 龔 （東京大学大学院総合文化研究科超域 文化科学表象文化論コース博士課程）	8 発表者：周文鵬 （月鳥齋圖文創工作室負責人・淡江大 學中文系・中原大學通識中心兼任助理教 授）
	テーマ：文字の違いに見るマンガ翻 訳の不可能性	テーマ：国境を超える連携—中国初期ア ニメーション史からみたイマドキのア ニメーション生産トレンド	テーマ：デバイス変奏曲：縦スクロール 漫画の原理と趨勢
	3 招待発表者：DALE, Sonja （一橋大学社会学部特任講師）	15 発表者：李岩楓 （京都精華大学博士後期課程マンガ研 究科理論 在学）	9 発表者：田 昊 （東呉大学中国文学系博士生）
	テーマ：2D のような 3D—日本のアニメ 業界における CG 業界へのシフト—	テーマ：オノマトペ—日本マンガにおけ る図面表現及び中国マンガへの応用の 可能性	テーマ：浦沢直樹漫画芸術におけるフィ ルムセンスの創造力について
	質疑応答	質疑応答	質疑応答
	<b>ティータイム</b>		
16:00-17:20 3×20分（發 表時間）+ 20分（総合 質疑討議） =80分	A-2 会場（R0302 教室）	B-2 会場（R0305 教室）	C-2 会場（R0312 教室）
	コメンテータ兼司会者：DALE, Sonja 一橋大学社会学部特任講師	コメンテータ兼司会者：林立萍 （台湾大学日本語文学系教授兼 日本研究中心主任）	コメンテータ兼司会者：余曜成 （台大智活中心資深研究員/專案經理）
	4 発表者：小高裕次 （文藻外语大学日本語文系助理教授）	10 発表者：沈美雪 （中国文化大学日本語文学系副教授）	16 発表者：周惠玲 （華梵大学哲学系傳播學程兼任助理教 授）
テーマ：ライトノベルのアニメ化に際す る諸要素の増減について—『涼宮ハルヒ の憂鬱』を例に	テーマ：日本のマンガ・アニメにおける 「時間遡行」作品の構造分析—死と再 生、ループ、選択を手掛かりに—	テーマ：ストーリーマンガと児童文学の 競合関係—『不思議の国のアリス』を元 にしたマンガを例に—	

<p>5 発表者：永井隆之 (政治大學日本語文學系助理教授)</p> <p>テーマ：漫画『ONEPIECE』の組織論 海賊団「麦わらの一味」の性格</p>	<p>11 発表者：林曉淳 (世新大學日本語文學系助理教授)</p> <p>テーマ：『高橋留美子劇場』から見る日本の家族像</p>	<p>17 発表者：吳昀融 (東京大學東洋文化研究所客座研究員 / 台灣大學政治學研究所博士生)</p> <p>テーマ：『NARUTO-ナルト-』から核武装論を再検討する</p>
<p>6 発表者：林蔚榕 (東吳大學日本語文學系助理教授)</p> <p>テーマ：日本のマンガにみるプロフェッショナルの態度と行動特性—料理マンガを中心に—</p>	<p>12 招待発表者：李偉煌 (靜宜大學日本語文學系副教授兼主任)</p> <p>テーマ：日本のアニメを取り入れたランゲージエクステンジ授業の試み</p>	<p>18 発表者：詹宜穎 (政治大學中國文學系博士生兼任講師)</p> <p>テーマ：混血の葛藤、その狂気と輝き—『東京喰種トーキョーグール』から見た混血種のアイデンティティにおける調和と超越—</p>
<p>質疑応答</p>	<p>質疑応答</p>	<p>質疑応答</p>
<p>17:30-17:40 閉会式：普仁堂 閉会の辞：林聰敏（東吳大學德國文化學系教授、圖書館館長）</p>		

